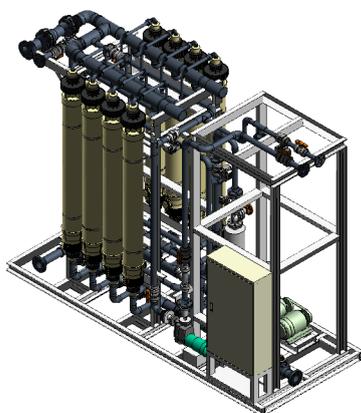


2025年2月27日
住友電気工業株式会社

**短工期で外付け可能な水処理膜装置を開発・初受注
～ミツカン 美濃加茂工場の排水処理能力増強に貢献～**

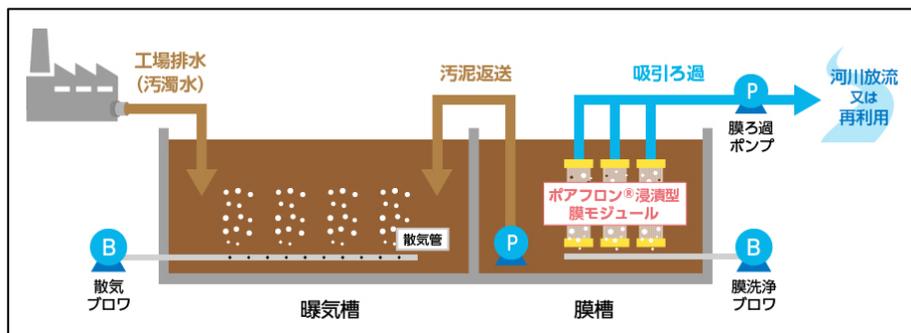
住友電気工業株式会社（本社：大阪府中央区、社長：井上 治、以下「当社」）は、排水処理の能力増強に適した外付け式水処理装置「ポアフロン[®]槽外 MBR 装置」を開発しました。株式会社 Mizkan（本社：愛知県半田市、代表取締役社長兼 CEO：吉永 智征、以下「ミツカン」）向けに、水処理エンジニアリング会社株式会社 A&E（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：松田 剛和、以下「A&E 社」）より 2024 年 12 月に初受注を獲得し、ミツカン 生産物流本部 美濃加茂工場にて 2025 年上期に稼働開始予定です。



ポアフロン[®]槽外 MBR 装置 3D 図

当社の「ポアフロン[®]槽外 MBR 装置」は、膜分離活性汚泥法（MBR）^{*1}に基づき、排水処理設備の曝気槽周辺に外付けする形で使用できる、小～中規模向けの新製品です。当社は従来、独自開発した「ポアフロン[®]精密ろ過膜モジュール」^{*2}を用い、お客様のニーズにあわせたオーダーメイド型 MBR 装置を大規模排水処理向けに展開してきましたが、今回の新製品は標準化されたパッケージ型装置であり、オーダーメイド型に比べコストを抑え、短納期での提供が可能です。

■標準型 MBR・ポアフロン[®]槽外 MBR 装置 比較図・表



標準型 MBR 装置

- *1 膜分離活性汚泥法（MBR : Membrane Bio Reactor）
下水や工場排水の浄化に有効とされる「活性汚泥法」の一つで、微生物（活性汚泥）によって排水中に含まれる有機物を分解処理された水と、同じく排水中に含まれる微粒子および、微生物自体との分離を、ろ過膜を使って行う方法

- *2 独自開発した水処理膜「ポアフロン[®]精密ろ過膜モジュール」
PTFE（四弗化エチレン樹脂）を100%使った当社独自の多孔質材料「ポアフロン[®]」の優れた特徴を有する水処理膜。
 - 「ポアフロン[®]」の特徴
 - 耐薬品性…高濃度アルカリをはじめ、pH0～14の薬品洗浄が可能です。
 - 耐汚染性…優れた親水処理により、油分が膜表面に付着しづらく剥離しやすいため、油分を含んだ排水処理にも採用可能です。
 - 耐久性 …切れにくく、揺れや曲げに強い素材で、長期間使用できます。
 - 透水性 …高気孔率による高い透水性で、優れた水処理能力を実現します。

- *3 2018年5月30日 当社プレスリリース
畜産環境整備機構と共同で畜産排水処理用途に適した外付け式の簡易型ポアフロン[®]MBR装置を開発
<https://sei.co.jp/company/press/2018/05/prs050.html>